



2021年12月期 第2四半期 決算概要

2021年7月30日

株式会社MonotaRO
www.monotaro.com

事業概要と特長・差別化戦略

■ 主な事業内容

- インターネット等を利用した、事業者向け工場・工事用、自動車整備用等の間接資材の通信販売
(商品点数:1,800万点超・うち当日出荷対象商品61.0万点、在庫点数47.9万点)

■ 販売商品の特長

- 種類は多岐にわたり、顧客にとっては価格よりも利便性が重要

■ 従業員数(連結・2021年6月末)

	正社員		アルバイト・派遣		計	
本社等(内、MonotaRO)	739	(449)	383	(354)	1,122	(803)
物流センター(同)	144	(108)	1,540	(1,463)	1,684	(1,571)
計(同)	883	(557)	1,923	(1,817)	2,806	(2,374)

■ 主な競合

- 訪問工具商・金物屋・自動車部品商、インターネット通販サイト等

■ 主な顧客層

- 製造業、建設・工事業、自動車整備業等(中小企業が中心顧客)

■ 市場規模

- 5～10兆円

■ 経営戦略

- インターネットを活用して規模の経済を実現し幅広い商材と高い検索性で差別化する。
- 累積する受注・顧客データベースを整備分析したマーケティングで顧客を囲い込む。
- ソフト開発からコンテンツ制作までの多くを自社で行うことで高い生産性を実現する。

2021年12月期 第2四半期 【単体】決算概要

【単体】2021年度 第2四半期 損益計算書サマリー 1/3

	2020年度Q2累計 実績		2021年度Q2累計 計画		2021年度Q2累計 実績			
	金額 (百万円)	売上比	金額 (百万円)	売上比	金額 (百万円)	売上比	前年 同期比	計画比
売上高	72,651		90,742		88,448		+21.7%	△2.5%
内 大企業連携	12,173	16.8%	16,635	18.3%	17,811	20.1%	+46.3%	+7.1%
売上総利益	20,661	28.4%	26,202	28.9%	25,664	29.0%	+24.2%	△2.1%
販売管理費	11,089	15.3%	13,965	15.4%	13,592	15.4%	+22.6%	△2.7%
営業利益	9,572	13.2%	12,237	13.5%	12,071	13.6%	+26.1%	△1.4%
経常利益	9,586	13.2%	12,226	13.5%	12,120	13.7%	+26.4%	△0.9%
当期純利益 (法人税等税率)	6,662 (30.5%)	9.2%	8,487 (30.6%)	9.4%	8,401 (30.6%)	9.5%	+26.1%	△1.0%

【単体】2021年度 第2四半期 損益計算書サマリー 2/3 対前年

	20年度Q2累計実績(A)		21年度Q2累計実績(B)		増減(B-A)		
	金額 (百万円)	売上比	金額 (百万円)	売上比			
売上高	72,651	—	88,448	—	増減金額 (百万円)	+15,796	■ 事業者向けネット通販事業・購買管理システム事業(大企業連携)とも注文単価、頻度、顧客数が増。大企業連携は、前年の新型コロナウイルスの影響による需要減の反動もあるが、高成長を維持(対前年同期:+46.3%)。
					増減率	+21.7%	
					売上比増減	—	
売上総利益	20,661	28.4%	25,664	29.0%	増減金額 (百万円)	+5,002	■ 商品粗利率は前年同期と同等レベル(大企業連携売上比率増となるも、PB/輸入商品粗利率増、原価ベース為替円高、等)。 ■ ロイヤリティ受領額増。 ■ 配送料・諸掛率減(+0.3pt.:注文単価増による配送料率減)。
					増減率	+24.2%	
					売上比増減	+0.6%	
販売管理費	11,089	15.3%	13,592	15.4%	増減金額 (百万円)	+2,502	■ 物流拠点準備・保守費率増(+0.2pt.:茨城中央SC稼働準備、保守費用率増)。 ■ 業務委託費率増(+0.1pt.:Q1の派遣社員の単価増)。 ■ システム利用料率増(+0.1pt.:ビッグデータ使用増)。 ■ 減価償却費率(+0.1pt.:茨城中央SC稼働に伴う減価償却費率増)。 ■ 人件費率減(△0.2pt.:前年の災害手当の反動減等)。 ■ 設備賃借料率減(△0.1pt.:茨城中央SC稼働に伴う外部倉庫賃借減等)。 ■ 広告宣伝費率減(△0.1pt.:売上伸長によるカタログ製作費用の効率化)。 ■ 通信費率減(△0.1pt.:カタログ発送費用率減)、等。
					増減率	+22.6%	
					売上比増減	+0.1%	
営業利益	9,572	13.2%	12,071	13.6%	増減金額 (百万円)	+2,499	■ 売上総利益率が改善し、営業利益率/売上比改善。
					増減率	+26.1%	
					売上比増減	+0.4%	
当期純利益 (法人税等税率)	6,662 (30.5%)	9.2%	8,401 (30.6%)	9.5%	増減金額 (百万円)	+1,738	■ 営業利益率の上昇により当期純利益率もほぼ同程度上昇(+0.3pt.)。
					増減率	+26.1%	
					売上比増減	+0.3%	

【単体】2021年度 第2四半期 損益計算書サマリー 3/3 対計画

	21年度Q2累計計画(A)		21年度Q2累計実績(B)		増減(B-A)		
	金額 (百万円)	売上比	金額 (百万円)	売上比			
売上高	90,742	—	88,448	—	増減金額 (百万円)	△2,294	■ 事業者向けネット通販事業: 製造業を中心に新型コロナウイルスの影響から回復は見られるものの、計画に織り込んだ成長は未達。 ■ 購買管理システム事業(大企業連携): 新型コロナウイルスの影響から回復し計画を上回って成長(対計画: +7.1%)。
					増減率	△2.5%	
					売上比増減	—	
売上総利益	26,202	28.9%	25,664	29.0%	増減金額 (百万円)	△538	■ 商品粗利率減(△0.1pt.: 大企業連携売上比率増。国内商品粗利率減、国内商品売上比率増、等)。 ■ ロイヤリティ受領額増。 ■ 配送料・諸掛率減(+0.1pt.: 注文単価増に伴う配送料率減)。
					増減率	△2.1%	
					売上比増減	+0.1%	
販売管理費	13,965	15.4%	13,592	15.4%	増減金額 (百万円)	△372	■ 業務委託費率減(△0.2pt.: 注文単価増による注文当り物流業務減)。 ■ システム利用料率減、減価償却費率減(△0.1pt.: 新システム稼働遅れ)。 ■ 設備賃借料率増(+0.1pt.: 一時的入荷増対応・大型商品のための外部倉庫賃借開始が計画から前倒し)。 ■ 対計画売上減、等。
					増減率	△2.7%	
					売上比増減	0.0%	
営業利益	12,237	13.5%	12,071	13.6%	増減金額 (百万円)	△166	■ 売上総利益率が改善し営業利益率/売上比が改善するも、売上減により営業利益額は計画未達。
					増減率	△1.4%	
					売上比増減	+0.1%	
当期純利益 (法人税等税率)	8,487 (30.6%)	9.4%	8,401 (30.6%)	9.5%	増減金額 (百万円)	△86	■ 営業利益の上昇(+0.1pt.)により当期純利益率が改善するも、当期純利益額は未達。
					増減率	△1.0%	
					売上比増減	+0.1%	

【単体】営業利益の増減要因分析

営業利益
(2020Q2累計)

売上増加

売上総利益率改善

販売管理費率上昇

・ その他費率上昇

・ 減価償却費率上昇

・ 業務委託費率上昇

・ 通信費率改善

・ 広告宣伝費率改善

・ 設備賃借料率改善

・ 人件費率改善

営業利益
(2021Q2累計)

9,572百万円

+2,081百万円	- monotaro.com・大企業連携とも注文単価、頻度、顧客数が増。 - 大企業連携は、前年の新型コロナウイルスの影響による減の反動もあるが、高成長を維持。
+510百万円	- 商品粗利率は前年同期と同等レベル。 - ロイヤリティ受領額増。 - 配送料・諸掛率減。
△92百万円	下記要因により販売管理費率低下。
△265百万円	ビッグデータ使用増に伴うシステム利用料率増、茨城中央SC稼働開始準備関連費率、物流保守費率増。
△108百万円	茨城中央SC稼働開始に伴う減価償却費率増。
△70百万円	物流業務委託費単価増。
+44百万円	カタログ発送費用率減。
+51百万円	カタログ製作関連費用率減。
+96百万円	茨城中央SC稼働開始に伴うバックヤード用等外部倉庫賃借減。
+160百万円	前年の災害手当支給の反動減。

12,071百万円(前年比:+2,499百万円、+26.1%)

※ 増減金額は要因ごとの比率変動等による営業利益の変動額であり、要因項目の実変動金額ではない。

【単体】2021年度 第2四半期 貸借対照表サマリー

		2020年 6月	2020年 12月	2021年 6月	
		金額 (百万円)	金額 (百万円)	金額 (百万円)	構成比
資産の部					
流動資産	現預金	10,027	16,691	8,146	9.3%
	売掛金	17,314	18,129	20,694	23.6%
	棚卸資産	11,734	11,296	13,977	16.0%
	その他	4,405	5,154	5,787	6.6%
流動資産合計		43,481	51,271	48,605	55.5%
固定資産	有形固定資産 ^(注1)	13,873	19,052	26,748	30.6%
	無形固定資産	3,536	4,008	5,103	5.8%
	投資その他資産	5,764	6,629	7,066	8.1%
固定資産合計		23,174	29,690	38,918	44.5%
資産合計		66,656	80,962	87,524	

※注1: 2020年6月から2021年6月の有形固定資産増128億円は茨城中央SC分の69億円(2021年3月稼働開始)・猪名川DC分の62億円(稼働前:建設仮勘定)を含む。

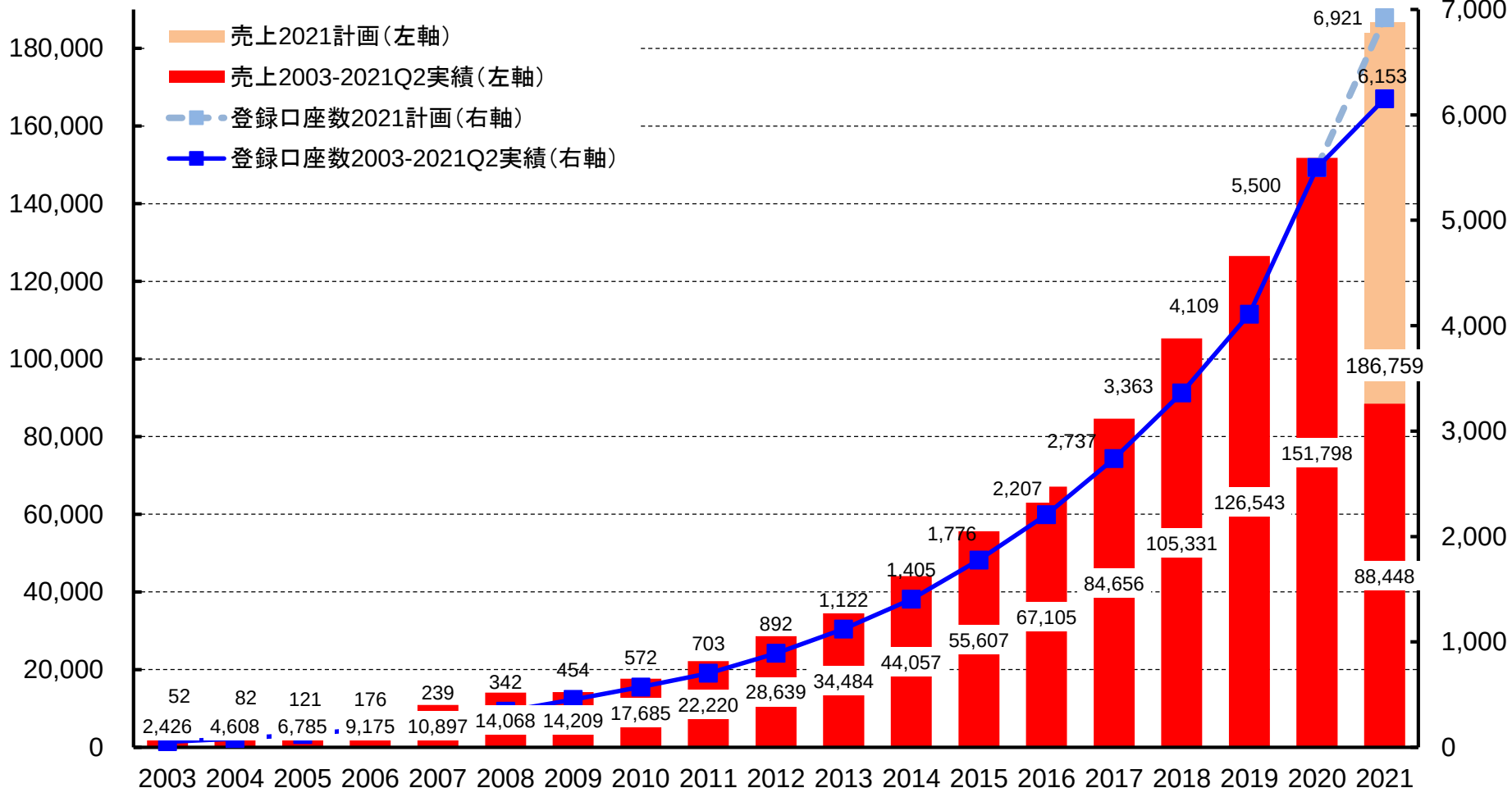
		2020年 6月	2020年 12月	2021年 6月	
		金額 (百万円)	金額 (百万円)	金額 (百万円)	構成比
負債の部					
流動負債	買掛金	11,142	11,165	13,540	15.5%
	短期借入金等 ^(注2)	1,498	—	—	0.0%
	その他	8,595	10,644	8,457	9.7%
	流動負債合計	21,236	21,810	21,997	25.1%
固定負債		1,671	11,013	11,328	12.9%
負債合計		22,907	32,823	33,325	38.1%
純資産の部					
株主資本合計		43,695	48,066	54,118	61.8%
新株予約権		53	72	80	0.1%
純資産合計		43,749	48,138	54,198	61.9%
負債・純資産合計		66,656	80,962	87,524	

※ 注2: 短期借入金等・・・短期借入金および一年内返済長期借入金

【単体】売上・登録口座数推移

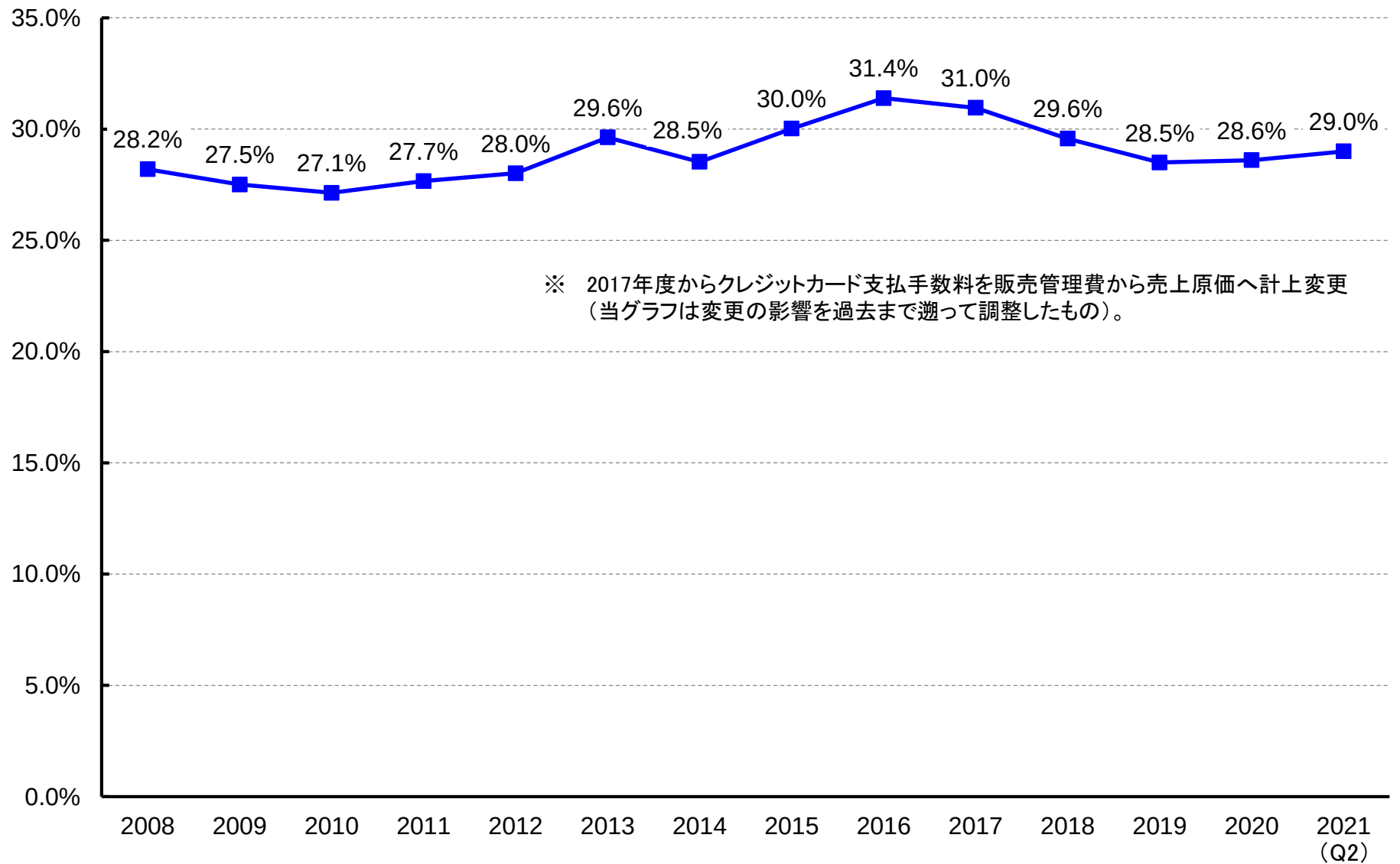
(百万円)

(千口座)

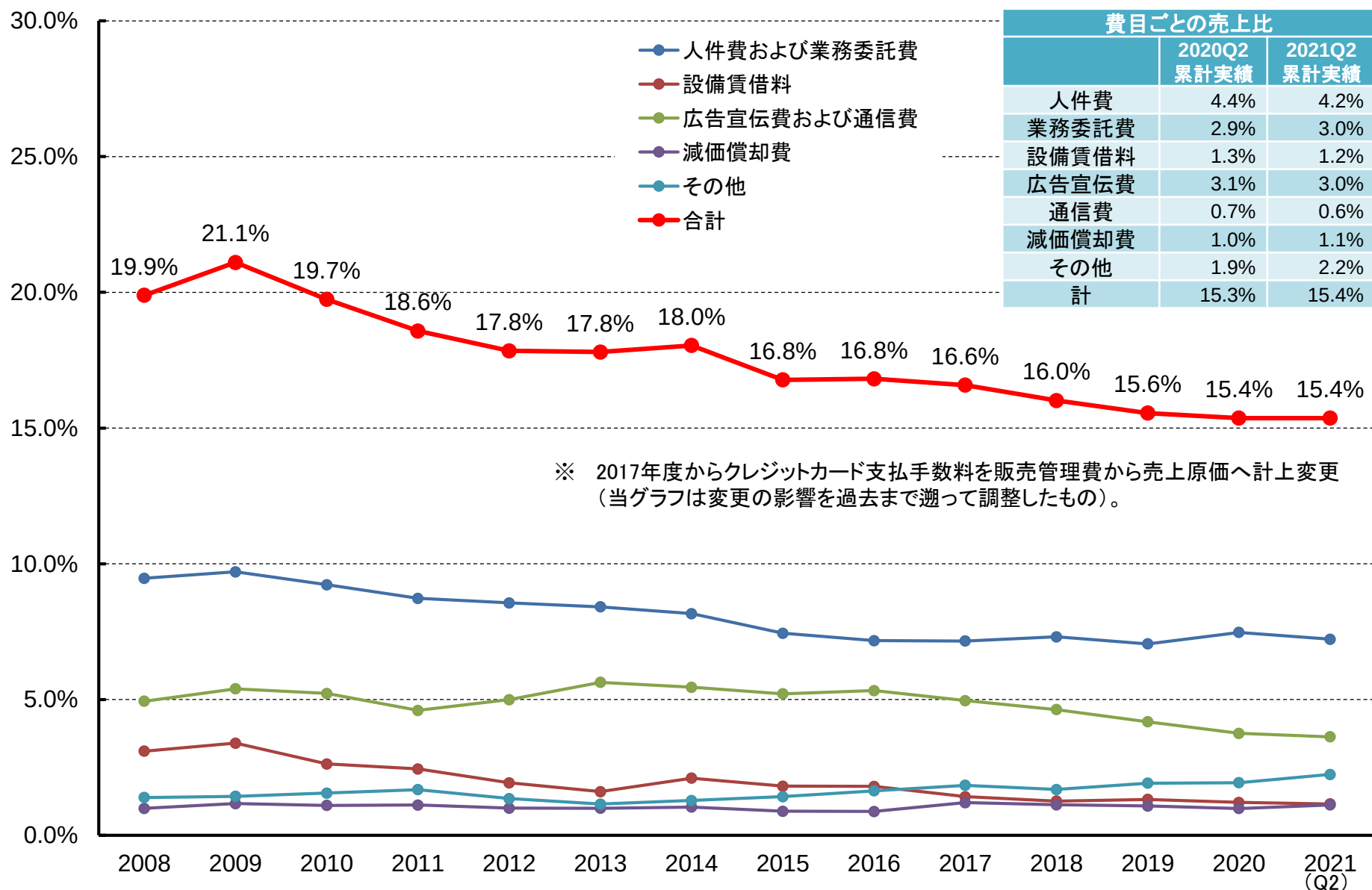


	2020年12月末	2021年6月末	2021年12月末(計画)
登録口座数	5,500,774	6,153,878 +653,104 (対2020年12月末)	6,921,874 +1,421,100 (対2020年12月末)

【単体】売上総利益率推移



【単体】販売管理費率推移



2021年12月期 第2四半期 【連結】決算概要

【連結】2021年度 第2四半期 損益計算書サマリー 1/2

	2020年度Q2累計 実績		2021年度Q2累計 計画		2021年度Q2累計 実績			
	金額 (百万円)	売上比	金額 (百万円)	売上比	金額 (百万円)	売上比	前年 同期比	計画比
売上高	75,281		94,133		91,868		+22.0%	△2.4%
売上総利益	21,241	28.2%	26,987	28.7%	26,399	28.7%	+24.3%	△2.2%
販売管理費	11,922	15.8%	14,945	15.9%	14,501	15.8%	+21.6%	△3.0%
営業利益	9,318	12.4%	12,041	12.8%	11,898	13.0%	+27.7%	△1.2%
経常利益	9,342	12.4%	12,075	12.8%	11,973	13.0%	+28.2%	△0.8%
当期純利益 (法人税等税率)	6,419 (31.3%)	8.5%	8,330 (31.0%)	8.8%	8,249 (31.0%)	9.0%	+28.5%	△1.0%
親会社株主に帰属 する当期純利益	6,540	8.7%	8,427	9.0%	8,344	9.1%	+27.6%	△1.0%

【連結】2021年度 第2四半期 損益計算書サマリー 2/2

■ NAVIMRO (韓国)

- 新規顧客獲得計画を達成するもリピート率が下回り、売上は対計画若干未達(現地通貨ベース)。
- 売上未達となるも販管費が計画から抑制されたことにより、営業利益は大きく上昇。

	2020年度Q2累計 実績			2021年度Q2累計 計画			2021年度Q2累計 実績				
	金額 (億円)	前年 同期比	現地通貨 前年同期比	金額 (億円)	前年 同期比	現地通貨 前年同期比	金額 (億円)	前年 同期比	計画比	現地通貨 前年同期比	現地通貨 計画比
売上	24.1	+7.1%	+14.7%	29.9	+24.4%	+23.1%	31.5	+31.0%	+5.4%	+21.9%	△1.0%
営業利益	0.4	—	—	0.6	+36.3%	+35.0%	0.9	+90.8%	+40.0%	+77.6%	+31.5%
当期純利益×持分(※注1)	0.4	—	—	0.6	+23.2%	+22.0%	0.8	+75.0%	+42.0%	+62.8%	+33.4%

■ MONOTARO INDONESIA (インドネシア)

- サイトスピードの改善やSEM施策は進捗しているものの、新型コロナウイルス再拡大の影響大。
- 売上計画は未達となるも、損失はほぼ計画内。

	2020年度Q2累計 実績			2021年度Q2累計 計画			2021年度Q2累計 実績				
	金額 (億円)	前年 同期比	現地通貨 前年同期比	金額 (億円)	前年 同期比	現地通貨 前年同期比	金額 (億円)	前年 同期比	計画比	現地通貨 前年同期比	現地通貨 計画比
売上	1.9	+23.9%	+28.9%	2.3	+21.0%	+22.6%	1.7	△9.4%	△25.1%	△10.6%	△27.1%
営業利益	△1.6	—	—	△1.5	—	—	△1.4	—	—	—	—
当期純利益×持分(※注1)	△0.7	—	—	△0.6	—	—	△0.7	—	—	—	—

■ IB MONOTARO (インド)

- サプライチェーン品質による注文キャンセル・返品は改善されるも、新型コロナウイルス再拡大の影響を受け売上計画未達。
- 売上計画は未達となるも、損失はほぼ計画内。

	2020年度Q2累計 実績			2021年度Q2累計 計画			2021年度Q2累計 実績				
	金額 (億円)	前年 同期比	現地通貨 前年同期比	金額 (億円)	前年 同期比	現地通貨 前年同期比	金額 (億円)	前年 同期比	計画比	現地通貨 前年同期比	現地通貨 計画比
流通総額(GMV)	—	—	—	2.6	(※注2) —	(※注2) —	1.9	(※注2) —	△25.8%	(※注2) —	△28.8%
売上	—	—	—	1.5	(※注2) —	(※注2) —	1.2	(※注2) —	△17.7%	(※注2) —	△21.0%
営業利益	—	—	—	△0.9	—	—	△0.8	—	—	—	—
当期純利益×持分(※注1)	—	—	—	△0.3	—	—	△0.2	—	—	—	—

※注1: 当期純利益に各年度末時点の持分比率を乗じた参考値。

※注2: 2021年1月事業開始であるため前年同期比は算定せず。

【連結】2021年度 第2四半期 貸借対照表サマリー

		2020年 6月	2020年 12月	2021年 6月	
		金額 (百万円)	金額 (百万円)	金額 (百万円)	構成比
資産の部					
流動資産	現預金	10,804	18,843	10,504	11.9%
	売掛金	17,443	18,267	20,885	23.7%
	棚卸資産	12,202	11,874	14,739	16.7%
	その他	4,533	5,278	5,949	6.8%
流動資産合計		44,984	54,264	52,077	59.1%
固定資産	有形固定資産	13,922	19,086	26,809	30.4%
	無形固定資産	3,693	4,829	5,934	6.7%
	投資その他 資産	2,806	3,081	3,293	3.7%
固定資産合計		20,422	26,998	36,036	40.9%
資産合計		65,407	81,263	88,114	

		2020年 6月	2020年 12月	2021年 6月	
		金額 (百万円)	金額 (百万円)	金額 (百万円)	構成比
負債の部					
流動負債	買掛金	11,479	11,643	14,047	15.9%
	短期借入金等	1,498	—	—	0.0%
	その他	8,756	10,898	8,730	9.9%
流動負債合計		21,733	22,542	22,777	25.8%
固定負債		1,718	11,062	11,398	12.9%
負債合計		23,451	33,604	34,176	38.8%
株主資本合計		41,679	46,805	52,800	59.9%
その他		275	852	1,137	1.3%
純資産合計		41,955	47,658	53,938	61.2%
負債・純資産合計		65,407	81,263	88,114	

※短期借入金等・・・短期借入金および一年内返済長期借入金

【連結】2021年度 第2四半期 キャッシュフローサマリー

	2020年度 Q2累計	2021年度 Q2累計
	金額(百万円)	金額(百万円)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税引前当期純利益	9,343	11,957
売上債権の増減額(△は増加)	△2,977	△2,610
棚卸資産の増減額(△は増加)	△662	△2,843
仕入債務の増減額(△は減少)	1,668	2,387
法人税等の支払額	△2,632	△4,005
その他	1,586	△414
計	6,325	4,471
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産取得による支出	△2,368	△8,358
無形固定資産取得による支出	△665	△1,435
その他	202	(※注) △1,786
計	△2,831	△11,580
財務活動によるキャッシュ・フロー		
長期借入金の返済による支出	△1,000	—
リース債務の返済による支出	△661	△661
配当金の支払額	△1,864	△2,359
その他	△68	128
計	△3,594	△2,892
現金および現金同等物に係る換算差額	△35	81
現金および現金同等物の増減額(△は減少)	△135	△9,918
現金および現金同等物の期首残高	10,746	18,767
現金および現金同等物の期末残高	10,610	8,849

※注: 海外子会社出資金の定期預金預入を含む。

2021年12月期下半期 事業計画・戦略

事業計画・戦略 ①国内事業 1/2

■ 事業者向けネット通販事業(monotaro.com)

- 顧客ベース拡大・顧客生涯価値向上
 - 2021Q2累計は約65万の新規顧客を獲得(計画通り)。
 - 商品検索・購買行動の傾向をベースにマーケティング・リソースをリスティング広告に適切に配分し「生涯価値」の高い事業者顧客をターゲットに獲得。
 - 獲得顧客に占める一般個人顧客の割合は減少傾向。
- 既存顧客売上拡大施策
 - 検索機能(「見つける時間」の短縮)の向上への取組みや取扱商品点数の拡大(「ワンストップショッピング」拡大)等を通じ、既存顧客受注増を図る。
 - 商品検索結果・レコメンド表示のパーソナライズ推進。

■ 購買管理システム事業(大企業連携)

- 2021Q2累計実績
 - 連携社数、注文金額、注文頻度とも好調に推移。
 - 前年の新型コロナウイルス時に需要減となった反動もあるが、2021Q2累計売上は計画を上回って成長(対前年同期+46.3%、対計画比:+7.1%)。

2020年度Q2累計 実績			2021年度Q2累計 計画			2021年度Q2累計 実績			
金額(百万円)	前年同期比	売上合計比	金額(百万円)	前年同期比	売上合計比	金額(百万円)	前年同期比	計画比	売上合計比
12,173	+31.1%	16.8%	16,635	+36.7%	18.3%	17,811	+46.3%	+7.1%	20.1%

	2020年度 Q4末		2021年度 Q2末	
	企業数	企業数	前年度末比	検討中企業数
連携企業数	1,237	1,549	+312	
One Source	14	14	+0	1社が導入検討中。
One Source Lite	692	950	+258	587社が導入検討中。

事業計画・戦略 ①国内事業 2/2

■ ロイヤリティ事業

- ・ ロイヤリティ対象事業である親会社Grainger社のZoroビジネス(米・英)は売上成長(取扱商品点数拡大:750万点)・利益率改善(売上拡大効果に基づく販売キャンペーン選定)の施策を継続中。
- ・ 2021Q2累計のロイヤリティ受領額は対前年・対計画から増。

■ データサイエンスに基づくマーケティング力向上

- ・ 事業者顧客獲得へ向けたSEM・SEO、商品の「見つけ易さ」のための検索機能精度向上、販売サイトの「使い易さ」へ向けた継続的サイト改善に取り組むための人材強化・確保を継続。
- ・ 検索結果・レコメンドのパーソナライズ化
 - － 現状、業種をベースに顧客をグルーピングして検索結果を表示。個々の顧客レベルまで細分化(パーソナライズ化)に取り組み中(2022年を目途)。
 - － 現状、一部ページでレコメンドのパーソナライズ化実現。表示可能レコメンドの拡大に取り組み中。
 - － 検索結果・レコメンド表示のリアルタイムでのパーソナライズ化にも取り組む。
- ・ 「新型コロナウイルス後の働き方」を見据えて設計した梅田サテライトオフィスや東京オフィス(赤坂)で上記施策に取り組むデータ・サイエンティスト、エンジニア等が勤務。

■ サプライチェーン高度化の新ITプラットフォーム構築

- ・ 商品情報管理システム(Product Information Management / PIM)
 - － 稼働開始スケジュール再整理(2022年の年初運用開始予定)。
 - － 商品情報入手コストを効率化し、更なる「ワンストップショッピング拡大」を通じて既存顧客売上・新規顧客獲得拡大を図る。
- ・ 受発注管理システム(Order Management System / OMS)
 - － 稼働開始スケジュール再整理(2022年の年初運用開始予定)。
 - － 多様な状況下における最適配送方法の選定機能による「商品の到着を待つ時間短縮」。
 - － オペレーション負荷平準化・荷別れ抑制機能による「配送・物流関連コスト抑制」。
 - － 増加する顧客からの注文とそれに伴う発注・配送に対応。

事業計画・戦略【単体】2021年度計画

	2020年度 実績		2021年度 計画		
	金額(百万円)	売上比	金額(百万円)	売上比	前年比
売上高	151,798		186,759		+23.0%
内 大企業連携	26,161	17.2%	34,680	18.6%	+32.6%
売上総利益	43,475	28.6%	53,852	28.8%	+23.9%
販売管理費	23,325	15.4%	28,810	15.4%	+23.5%
営業利益	20,149	13.3%	25,041	13.4%	+24.3%
経常利益	20,194	13.3%	25,022	13.4%	+23.9%
当期純利益 (法人税等税率)	13,139 (30.6%)	8.7%	17,365 (30.6%)	9.3%	+32.2%

事業計画・戦略【連結】2021年度計画

	2020年度 実績		2021年度 計画		
	金額(百万円)	売上比	金額(百万円)	売上比	前年比
売上高	157,337		194,220		+23.4%
売上総利益	44,694	28.4%	55,565	28.6%	+24.3%
販売管理費	25,086	15.9%	30,887	15.9%	+23.1%
営業利益	19,607	12.5%	24,678	12.7%	+25.9%
経常利益	19,671	12.5%	24,738	12.7%	+25.8%
当期純利益 (法人税等税率)	13,473 (30.8%)	8.6%	17,067 (31.0%)	8.8%	+26.7%
親会社株主に帰属 する当期純利益	13,771	8.8%	17,273	8.9%	+25.4%

※注: 公表済の連結業績予想に対して期中最新の連結業績予想が下記変動幅のいずれかを超過した場合、修正開示を行う。

連結売上高: ±5%、連結営業利益: ±10%、連結経常利益: ±10%、親会社株主に帰属する当期純利益: ±10%

事業計画・戦略【連結】2021年度計画 海外子会社

■ NAVIMRO(韓国)

- 顧客ベース、品揃え・在庫拡大等を図り、対2020年度+20%超の売上成長を計画。
- 2021Q2時点で利益は計画を上回って推移。

	2020年度 実績			2021年度 計画		
	金額(億円)	前年比	現地通貨前年比	金額(億円)	前年比	現地通貨前年比
売上	51.4	+14.0%	+17.7%	63.5	+23.4%	+23.4%
営業利益	1.0	+552.7%	+574.3%	1.7	+59.4%	+59.4%
当期純利益×持分(※注1)	1.0	+334.6%	+348.9%	1.5	+46.4%	+46.4%

■ MONOTARO INDONESIA(インドネシア)

- 新型コロナウイルスの影響を受けた2020年度から大きく成長する計画。
- ただし、2021Q2時点で新型コロナウイルスの影響が再拡大。

	2020年度 実績			2021年度 計画		
	金額(億円)	前年比	現地通貨前年比	金額(億円)	前年比	現地通貨前年比
売上	3.7	△3.5%	+0.5%	6.8	+84.2%	+84.2%
営業利益	△3.1	—	—	△3.0	—	—
当期純利益×持分(※注1)	△1.8	—	—	△1.3	—	—

■ IB MONOTARO(インド)

- 2021年1月より連結子会社として事業開始。
- サプライチェーンの継続的な改善により、受注から配達までの完了比率を改善していく。

	2020年度 実績			2021年度 計画		
	金額(億円)	前年比	現地通貨前年比	金額(億円)	前年比	現地通貨前年比
流通総額(GMV)	—	—	—	7.0	(※注2) —	(※注2) —
売上	—	—	—	4.2	(※注2) —	(※注2) —
営業利益	—	—	—	△1.9	—	—
当期純利益×持分(※注1)	—	—	—	△0.7	—	—

※注1: 当期純利益に各年度末時点の持分比率を乗じた参考値。

※注2: 2021年1月事業開始であるため前年同期比は算定せず。

事業計画・戦略 物流 ①

■ 物流関連コスト2021Q2累計売上比実績:6.1%

- ・ 対2020Q2累計実績と同レベル。
 - 茨城中央SC稼働開始による減価償却費率増と設備賃借料率減。
- ・ 対2021Q2累計計画:△0.1ポイント
 - 設備賃借料率増(一時的増対応・大型商品のための外部倉庫賃借前倒し開始)となるも、人件費・業務委託費率減(注文単価増による物流業務減)。

■ 在庫

- ・ 2021年6月末実績:47.9万点。
- ・ 2021年12月末計画:48.0万点(需要変化に伴い在庫商品見直し中:約5万点)。

	2020年度Q2累計 実績		2021年度Q2累計 計画		2021年度Q2累計 実績			
	金額(百万円)	売上比	金額(百万円)	売上比	金額(百万円)	売上比	前年同期比	計画比
売上高(単体)	72,651		90,742		88,448		+21.7%	△2.5%
減価償却費	448	0.6%	600	0.7%	634	0.7%	+41.4%	+5.6%
人件費・業務委託費	2,438	3.4%	3,211	3.5%	3,000	3.4%	+23.0%	△6.6%
設備賃借料	821	1.1%	827	0.9%	859	1.0%	+4.6%	+3.9%
その他	702	1.0%	953	1.1%	928	1.0%	+32.2%	△2.7%
合計	4,410	6.1%	5,593	6.2%	5,422	6.1%	+22.9%	△3.1%

事業計画・戦略 物流 ②

■ 新物流拠点設置状況アップデート

名称		茨城中央SC	猪名川DC	
所在地		茨城県東茨城郡茨城町	兵庫県川辺郡猪名川町	
使用延床面積		約49,000㎡	計約163,000㎡	
在庫能力		需要上位商品 2～3万SKU	計50万SKU	
稼働開始		2021年3月	第1期 2022年4月目途	第2期 2023年Q3目途
出荷能力		約3万行/日	約9万行/日	約9万行/日追加(計約18万行/日)
投資・賃借料	土地	約13億円	――	
	建物	約61億円	賃借建物 追加工事 約14億円・原状回復費用 約14億円(精査中)	
	賃借料	――	第1期4フロア・危険物倉庫: 約191億円(2021～31年 共益費込)	
			――	
			第2期1フロア追加 約45億円 (2022～31年 共益費込)	
設備	約18億円	約80億円(精査中)		
		――		
摘要		バックヤードが主機能。 高需要商品の出荷機能も有り。	1年目は4フロアおよび危険物倉庫賃借。 2年目から1フロアを追加し計5フロアを賃借。	
工事・稼働進捗		稼働開始(2021年3月)	建物建設中	

イメージ



竣工写真

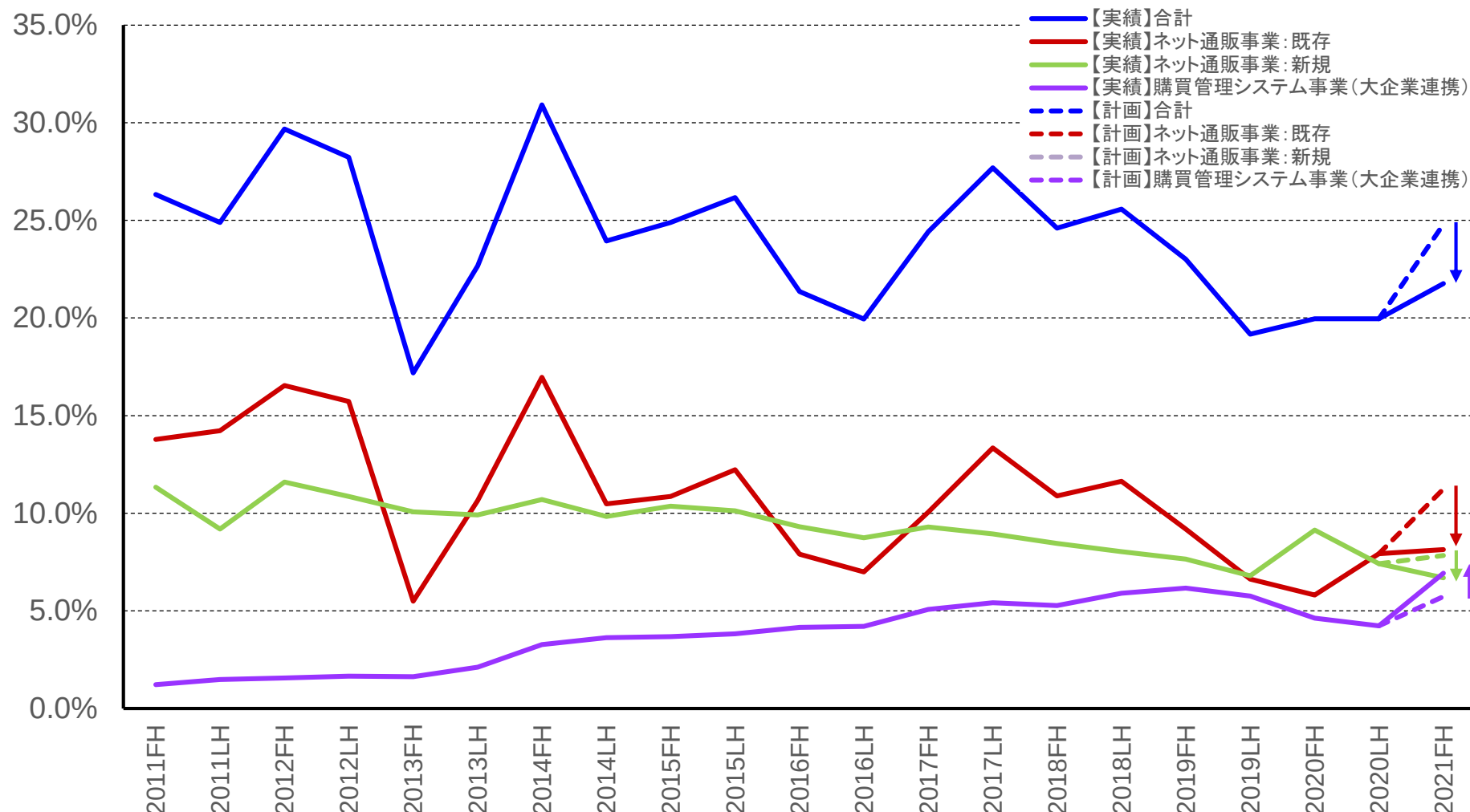
進捗状況



完成イメージ

参考資料

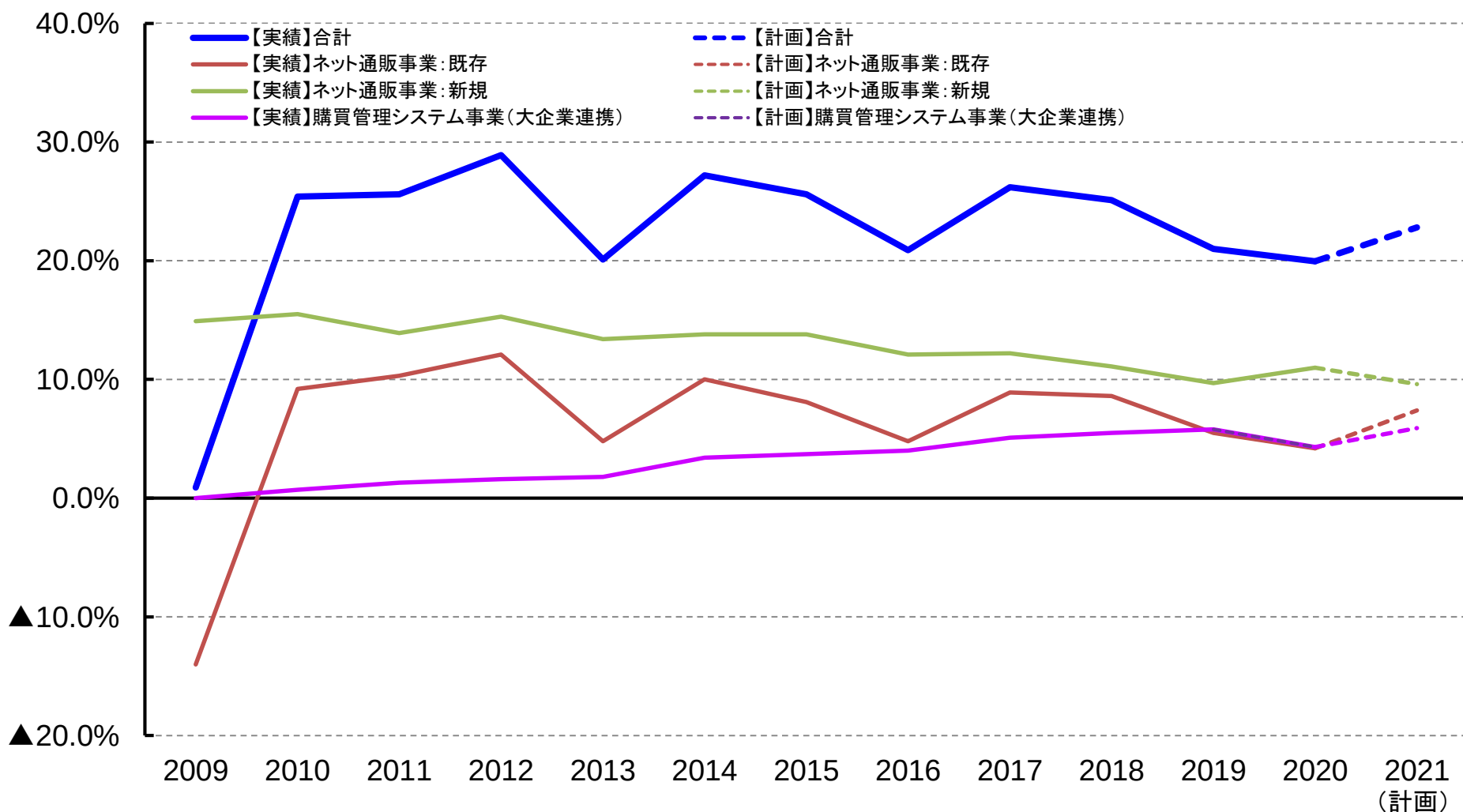
【単体】半期売上成長率(事業別/新規・既存顧客別貢献度)



※ 注1: 半期(上期・下期)毎に、対前年同期の売上全体の成長に占める各チャネルの内訳(貢献度)を整理したもの。

※ 注2: 「ネット通販事業: 新規」は、各半期に獲得した顧客からの売上による貢献度、「ネット通販事業: 既存」は、当該半期より前に獲得した顧客からの売上による貢献度を示す。よって、各年上期に獲得した顧客からの同年下期における売上は「ネット通販事業: 新規」ではなく「ネット通販事業: 既存」に含まれる(次ページ、「2020年12月期 決算説明資料」P.28および「2021年12月期 第1四半期 決算説明資料」P.25の「【単体】売上成長率(事業別/ 新規・既存顧客別貢献度)」は年度別のため、新規顧客の定義が異なる)。

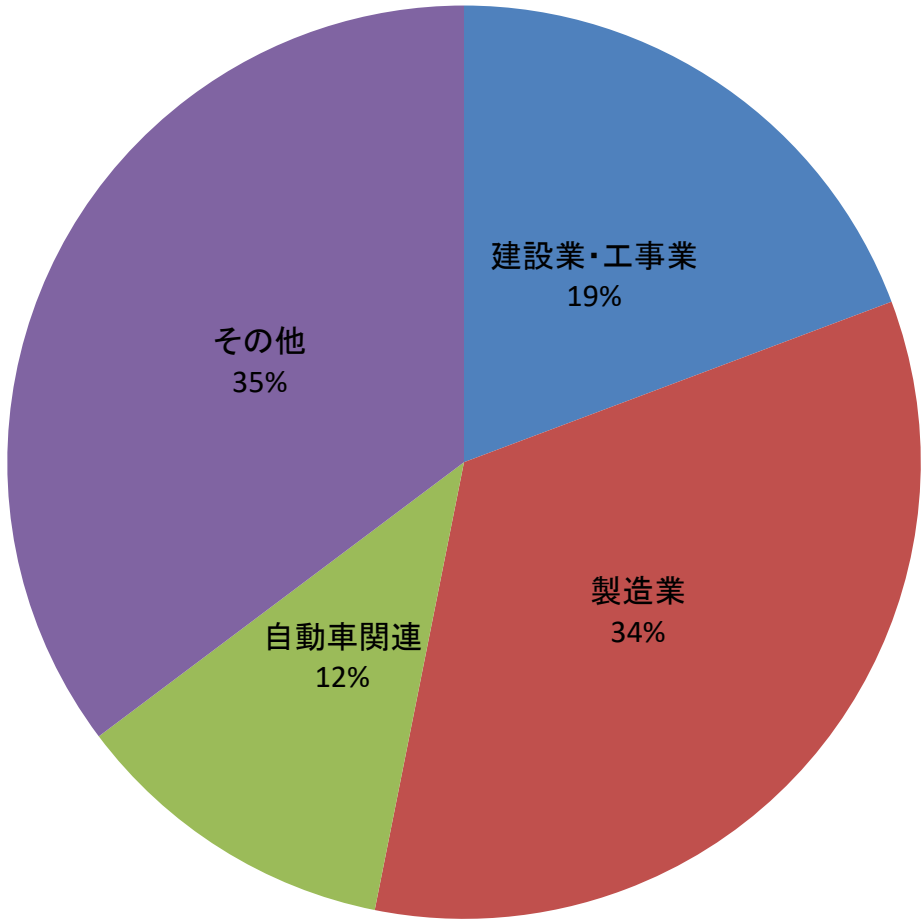
【単体】年度売上成長率(事業別/新規・既存顧客別貢献度)



※ 注1: 年度毎に、対前年同期の売上全体の成長に占める各チャネルの内訳(貢献度)を整理したもの。

※ 注2: 「ネット通販事業: 新規」は、各年度に獲得した顧客からの売上による貢献度、「ネット通販事業: 既存」は、前年度以前に獲得した顧客からの売上による貢献度を示す(前ページの新規顧客の定義とは異なる)。

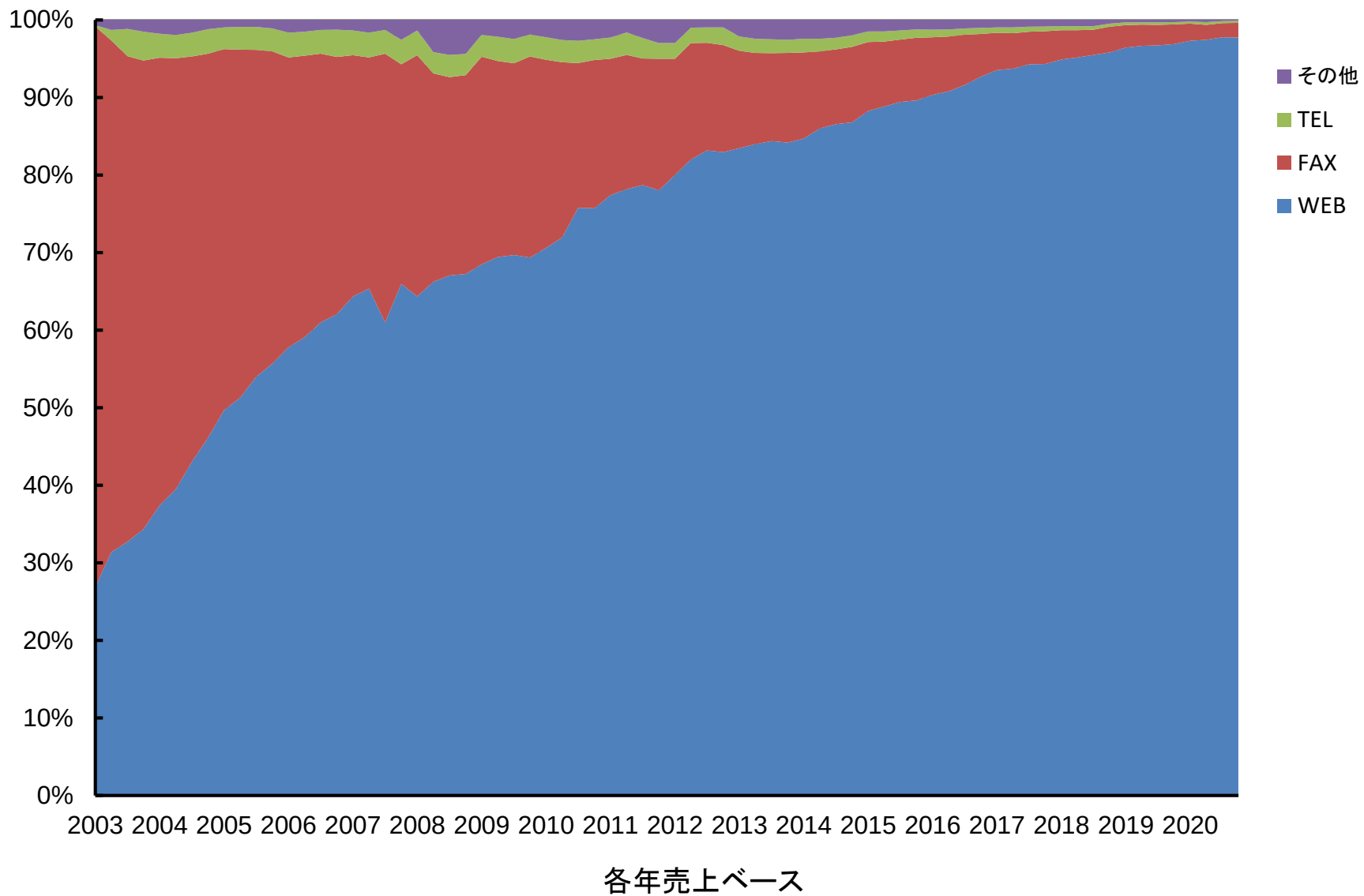
顧客の業種



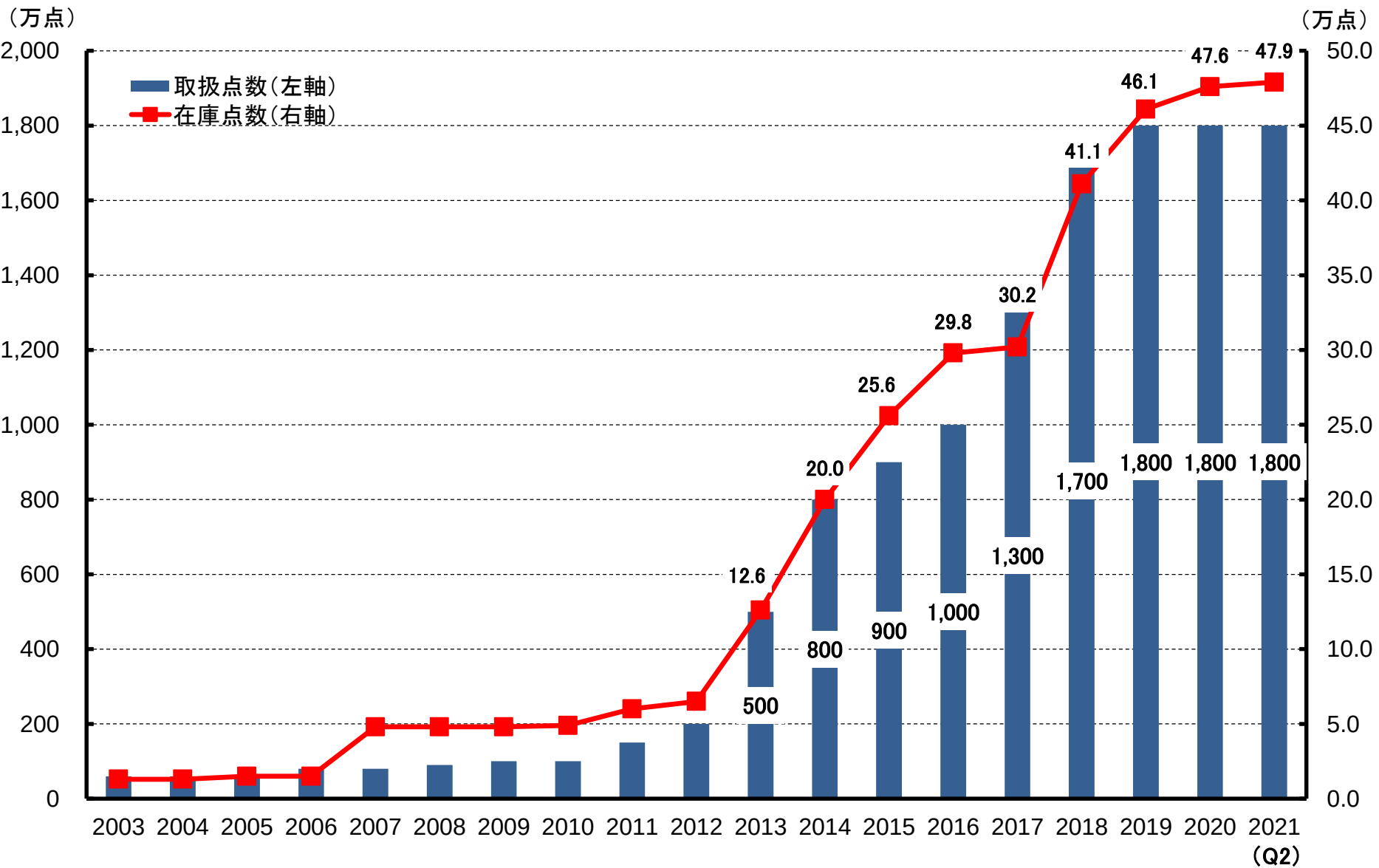
2020年売上ベース

monotaro.com受注のみ(大企業連携を除く)

受注方法比率



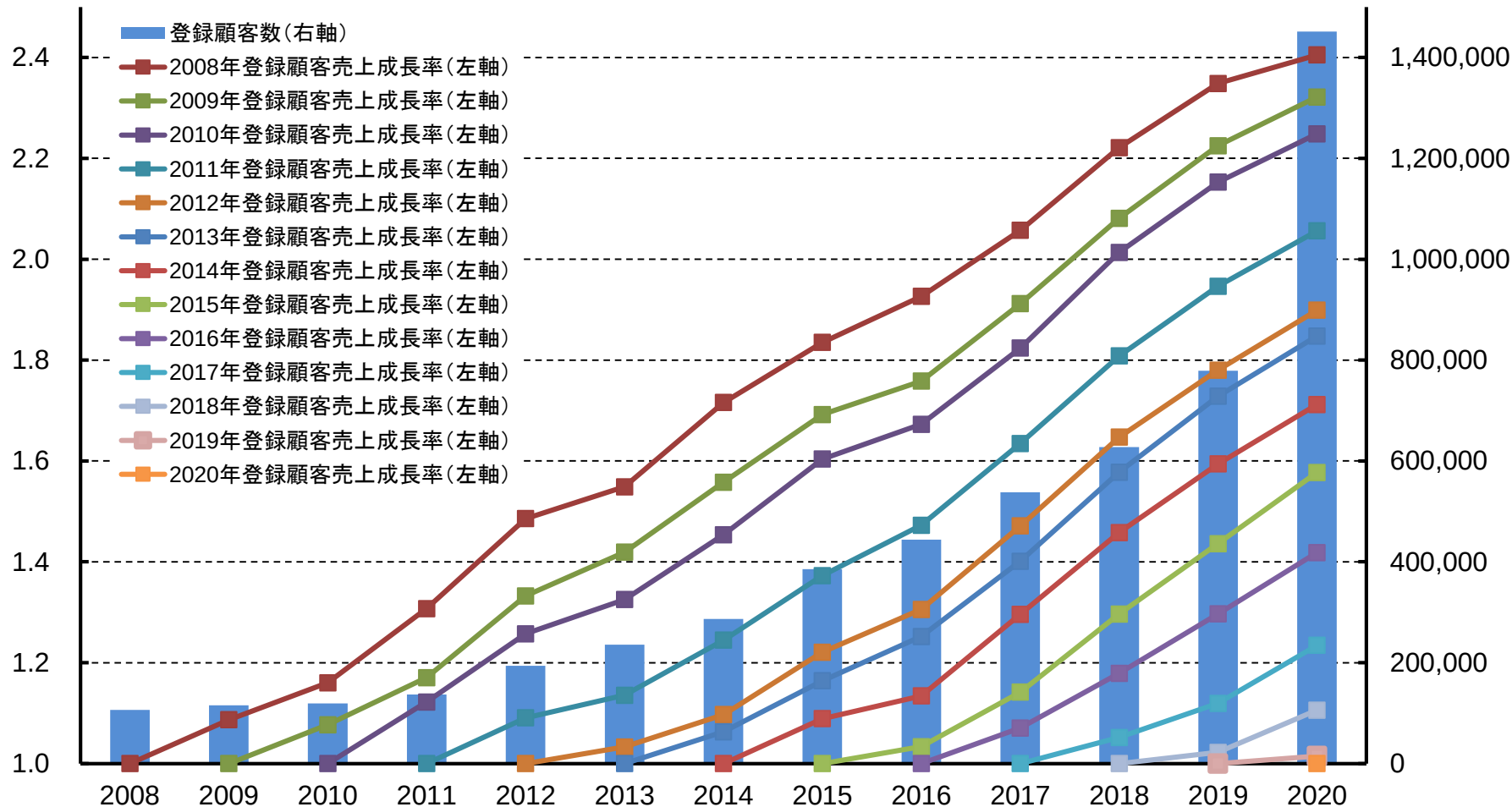
取扱・在庫点数



登録年度別登録顧客数・売上成長率

(購入金額成長)

(登録顧客数)

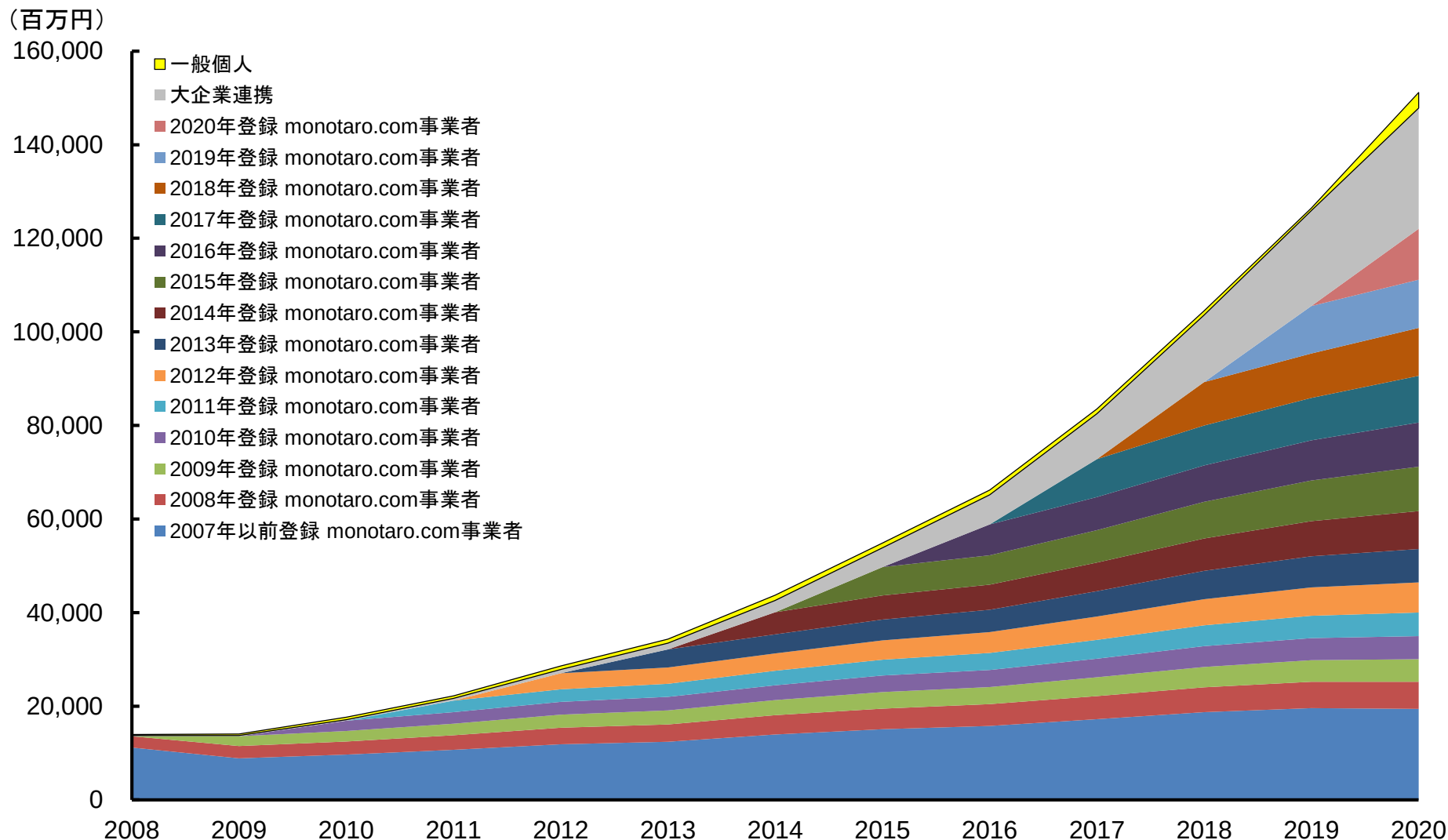


※注1: 棒グラフ(右軸)は該当年度に登録した事業者向けネット通販事業(monotaro.com)の顧客数。

※注2: 折線グラフ(左軸)は該当年度登録顧客の売上成長率。登録年度の売上を1とした場合の倍率。

※注3: 登録顧客数・売上とも2020年度末時点で事業者向けネット通販事業(monotaro.com)顧客のものを各登録年度まで遡って整理したもの(購買管理システム事業/大企業連携へ移行した顧客の売上データは含まれない)。

【単体】登録年度別売上推移



※注1: monotaro.com事業者売上は2020年度末時点のステータスで各登録年度毎に遡って整理したもの。

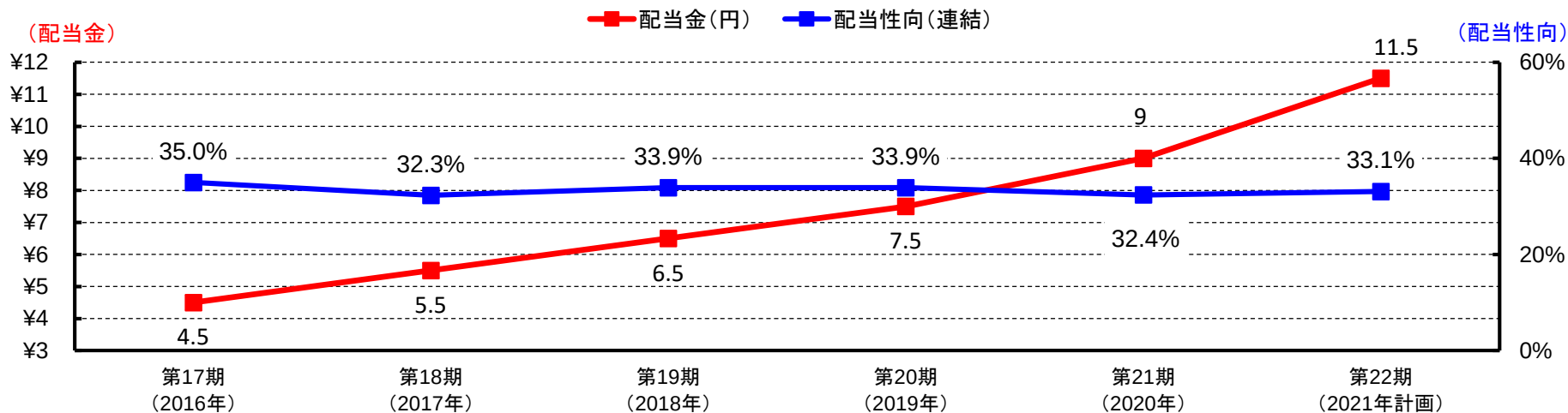
※注2: 大企業連携売上は2020年度末時点のステータスで遡って合算したもの。

※注3: 一般個人売上はmonotaro.com一般個人の2020年度末時点のステータスで遡った売上とIHCモノタロウ売上を合算したもの(IHCは閉鎖・monotaro.comへ統合済)。

株主還元

■ 配当の状況

- ・ 配当方針: 安定的かつ継続的な業績成長に見合った成果を配分。
- ・ 第21期(2020年度)配当実績: 1株当たり9円(中間配当4.25円、期末配当4.75円)。
- ・ 第22期(2021年度)配当計画: 1株当たり11.5円(中間配当5.75円、期末配当5.75円)。



※ グラフ内の配当金額は2021年4月1日付およびそれ以前の株式分割を考慮したもの。

■ 株主優待制度

- ・ 12月31日時点で当社株式1単位(100株)を半年以上継続保有されている株主様を対象に実施。
- ・ 継続保有期間(右表)に応じ当社プライベートブランド商品からお選び頂き贈呈。

継続保有期間	優待額
半年以上	3,000円(税抜)
3年以上	5,000円(税抜)
5年以上	7,000円(税抜)

本資料には、将来の業績に関する記述が含まれています。こうした記述は、将来の業績を保証するものではなく、リスクや不確実性を内包するものです。将来の業績は、経営環境の変化などにより、計画数値と異なる可能性があることにご留意ください。又、本資料は情報の提供のみを目的としており、取引の勧誘を目的としていません。

お問合せ先

IR・広報グループ

Tel:06-4869-7190

Fax:06-4869-7178

Mail: pr@monotaro.com

IR情報: <https://corp.monotaro.com/ir/index.html>